

学校を飛び出して、
地元で活躍するオトナを取材しよう！

レールから外れる ことは怖くない

池田町役場
町長 竹中誉さん



Q..学生の時はどんな生徒でしたか？

高校一年生では美術部に入り、二年生の時に陸上部に変わりました。当時は浮ついた生活にあこがれて、勉強も部活も中途半端にフラフラしていました。伸びるのが早いから、少しでも時間ができると草刈りをしていました。

二年生の冬、初めて進路相談があり、中学校に行きたい」と担任に伝えました。するとイラッとする説明で遠回しに「無理だ」と言われたんですよ。その瞬間から、何を勉強したいとかを一切考えずに大阪大学に入ることだけを目的にしました。でも、それまでずっと遊んでいたので、勉強する習慣を身につけるのに時間がかかりました。

三年生の時、頑張って金沢大学と中央大学に受けました。親からは「大阪大学じゃなくてもいいじゃないか」と言われたんだけど、進路相談の時の担任に腹が立つてしまふがなかつたから、親

庭が広いので、草刈り機でブンブン刈っているとスッキリします。夏場はかわいくないくらい草は伸びるのが早いから、少しでも時間ができると草刈りをしていました。

Q..私たち高校生に、一言メッセージをお願いします。

行動したことによる後悔よりも、行動しなかったことへの後悔のほうが大きくなると思います。成し遂げられるかどうかをあらかじめ想定できるチャレンジも大事。だけど、できるかどうか分からぬものに、一生懸命チャレンジすることは意義だと思います。

私が町長選挙に立候補した時のように、本気の挑戦には全く予想していなかつたところから救いの手が現れます。そんな感動をみんなにも味わってほしいし、経験してほしいです。よい音楽や絵画、風景、オリンピック選手の活躍など、感動は与えられることが多いと思いますが、本当の意味の心が震えるような感動は自らの行動の中からしか出でこない、と私は思っています。

そして、行動して失敗したことが多い人、この感動をより多く得た人ほど他人に優しく、周りを見ることができるようになると思います。

敷かれたレールの上から外れるることは怖いけれど、そういったところから感動が生まれます。強

にどうしても大阪大学に行きたないと伝えて浪人させてもらいました。

そうして名古屋の予備校に入つたんですけど、勉強を頑張ると思いきや、楽しい栄エリアで遊んでいました。八月末の予備校の進路相談で、「大阪大学はE判定です」と言われた時は『あれ、二年前にも見た光景だな』と思いました。九月から本気になり、缶詰状態でずっと勉強をして大阪大学に合格することがきました。あれほど頑張った四ヶ月間はありません。こんな感じでやるときはやるけど、やらないときは全くやらない生徒でした。

私が理想にかけているのは池田温泉から北の端まで公園のようになります。今ある価値により磨きをかけて良いものにし、自分たちの町に誇りをもてるようになります。

若い子が進学で岐阜県を離れても、また帰つてこようと思える池田町にしたいと考えています。どこにでもある風景を作り出すのではなく、唯一無二の町にしたいです。池田町と言つたら「あ！あの池田町！」と思われる特徴ある町にしたいと思っています。

だから歩いて楽しめるエリアを作りたいんです。それには池田山をいかに多くの人に楽しんでいただけるエリアに仕立て上げるかが大切。そのためには行政だけではなく地域の方、そして民間事業者、この三者の協力があつて初めて出来上がるんじゃないかなと思っています。

池田町を特徴づけているのは池田山だと思います。池田山から見える景色は、名古屋方面の方からもすごいと思われているんですよ。

まだ、予算通りにモノゴトが進んでいくかの確認をしたり、町民や業者の方の相談に乗つたりしています。県や各市町村へ出向き、会議に参加するなどバタバタしている日が多いです。

Q..池田町をどんな町にしていきたいですか？

たくさんの書類の内容を確認し、問題がなかつたらハンコ（承認印）を押しています。

池田町の竹中誉町長に池田町への想いや私たちがこれから大事にしていかなければならないことを詳しく伺いました。

Q..いつ頃から政治家に興味を持たれましたか？

地元の政治に興味がありました。これまで選挙の投票を休んだことはないんですけど、これは国政に興味がありました。ある県議員の方に「日々生活していくために一番大事なのは町政とか県政だ」と聞いて、明確に町長になりたいと思うようになりました。

十年ぐらい前に町長選挙に出ると決めて、いざ選挙に向けた活動が始まろうとしたとき、具体的な行動を伴つて応援してくれる人は大勢いると思っていました。ただ、それは大きな勘違いで実際はほんの数人でした。でも一生懸命努力していれば、必ず見てくれている人がいて助けてくれるんです。このときは本当にしびれましたね。

Q..プライベートは何をされていますか？

ほぼ休みはないですね。だからプライベートで何かをするつてことはあまりない……。

い想いを持ち続けてみんなにチャレンジしてほしい、感動を掴みに行つてほしいと思います。

い想いを持ち続けてみんなにチャレンジしてほしい、感動を掴みに行つてほしいと思います。



【感想】

今回の取材を通して竹中誉町長の意外過ぎる一面や仕事の内容、池田町への想いをたくさん知ることができました。町長のお話で一番衝撃を受けたのは学生だった時のエピソードです。町長という大きな仕事をしている人なので、眞面目で今まで努力を惜しまなかつた人だと思っていましたが、勉強や部活をさぼつたりして楽な方に流されやすい生徒だったと知つて親近感がわきました。また、一度掲げた目標を諦めることなく実現させていたのですごい人だなと思いました。町長が池田山を使って楽しめるエリアを作りたいと話してくれた時、私もすごくワクワクしたし、池田町民として一緒に作り上げていきたいと思いました。

「強い想いをもち続けてみんなにチャレンジしてほしいし、感動を掴みに行つてほしい」と最後に町長が言われた言葉を忘れずに、これから色々なことに挑戦し、たくさん失敗してたくさん成功していきたいです。

